

ツリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西

IRゲーミングEXPO2019／TEJハンドオーバーセレモニー

IR市場誕生で関連ビジネスに期待 ツリズム関係者やIR事業者などが集結

「ツリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西」では、昨年に続いて日本経済新聞社との共催による「インバウンド・観光ビジネス総合展」が併催されたほか、今年初めてとなる「IRゲーミングEXPO 2019」も同時開催されました。

昨年7月の特定複合観光施設区域整備法（IR実施法）成立により、日本でもIR市場が誕生することになったのを受けて、観光産業とIR事業者が一堂に会した同EXPOでは、IRオペ

レーターやIR導入を検討する地方自治体、IR関連ビジネスへの参入を検討している企業や団体とツリズム関連事業者の商談会も実施。また、「日本版IRが開く観光大国日本」と「ギャンブル等依存症対策のあるべき姿」をテーマにセミナーも開催され、専門家による講演には多くの関係者が耳を傾けました。

さらに、出展各社のブースでは、専属のエンターテインメントチームによるパフォーマンส์やマジシャンによるトリック・イリュージョン、ルーレット



ルーレットの模擬カジノが登場したブース



エンターテインメントチームのパフォーマンスも

“大阪・関西”から“2020 沖縄”へ ツリズムによる地方創生、さらに

トなどのカジノ体験も行われ、来場者はIR独特の華やかな雰囲気も楽しめました。



引継記念の旗を持つ下地芳郎OCVB会長



セレモニーで挨拶する田川博己JATA会長

「ツリズムEXPOジャパン（TEJ）2020」沖縄開催地連絡協議会は、「TEJ 2019 大阪・関西」期間中の10月25日、インテックス大阪6号館Aの沖縄ブースで、ツリズムEXPOジャパン 2019→2020 ハンドオーバーセレモニーを実施しました。来年のTEJは、「TEJ

2020 沖縄リゾート展」として、沖縄コンベンションセンターと周辺施設を会場に開催されることになっており、同協議会の事務局が置かれている沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）は、来年のTEJが沖縄で開催されることを広く周知するため、同セレモニーを行ったものです。

同ビューローの下地芳郎会長に引継記念の旗を手渡したTEJ実行委員会の委員長を務める田川博己JATA会長は、「ツリズムによる地方創生を掲げて、東京以外での開催に挑戦しているTEJの最初のトライが大阪・関西であり、関係者による一致団結した協力により大盛況のうちに業界日2日間を終えることができた」と挨拶。「ここに参集した沖縄の皆さんにも、大阪・関西での開催を踏まえて万全の受け入れ体制を整えていただくようお願いしたい」と語り、同セレモニーに出席したバイヤーやセラーなどの関係者に「TEJ2020 沖縄」にも是非ご参加を」と呼びかけました。